

合 同

No. 4 9 6

「あなたはもはや奴隷ではなく」

日本キリスト合同教会教師

大井 満



「ですから、あなたはもはや奴隷ではなく、子です。子であれば、神によって立てられた相続人でもあるのです」（ガラテヤの信徒への手紙 4 章 7 節）。

他教団に属するある教会から、主任牧師就任式に招かれて出席させていただきました。前任の牧師は 53 年間も、その教会の主任を務められ、年齢は重ねられましたが、まだお元気でいらっしゃいます。何年か前にその前任者と飛行機の旅をご一緒しました。その旅の途中、「大井先生、わたしはね、わたしのあとの教会のことをこんなふうに考えているんですよ」と、おそらくまだ誰にも話しておられない、ご自身の思いを打ち明けてくださったので、いつかその日は来るのだらうと思っていました。ですから、就任式のご案内の封筒が届いたときも、封書を見ただけで中身を予測し、それほど驚くことはなかったのです。

就任式が行われた礼拝と、午後の祝賀会にも出席させていただき、教団委員長の説教、来賓やご本人の挨拶、多くの祝辞を聞きながら、神がこのときを備え、この人を用意しておられたのだと実感して、熱い感動に満たされたひとときでした。

さて、ガラテヤの信徒への手紙 4 章は、神の子イエス・キリストがわたしたちの世界に遣わされたことにより、罪の奴隷（僕）となっていたわたしたち罪人が、その罪を赦されたばかりではなく、神の子どもにされ、神の国をイエス・キリストとともに受け継ぐ相続人とされたことを語っています。

それだけではなく、注意深く見ていただきたいのですが、1 節から 6 節までは、「わたしたち」（3 節、5 節）、「あなたがた」（6 節）と、複数形で言

われていたのに、7 節で突然「あなたは」と、単数形でわたし個人に向けて、あなた個人に向けて、「あなたはもはや奴隷ではなく、子です。子であれば、神によって立てられた相続人でもあるのです」と、驚きのメッセージが語られるのです。

ことの是非はともかく、新約聖書の時代には、奴隷や僕（しもべ）と呼ばれる存在が多くいました。裕福な家庭には、子どもたちの教育の責任を委ねられた家庭教師のような奴隷もいたというのです。しかし彼らは身分が決定的に違っていただけです。

今話題の「国宝」という映画を観ました。ほとんど予備知識なしに観に行ったのですが、3 時間、引き込まれるように観ていました。「芸よりも家柄が重んじられる」と言われてきた日本の伝統芸能の世界で、兄弟のようにして芸を磨いた出自の異なる二人が、一人は伝統ある家柄の出ではないために、大きな挫折を味わうのです。重い映画でしたが、SNS などには感動の声が多く投稿されています。しかしわたしは絶えず、神の愛と、主イエス・キリストの恵みに生かされているキリスト者の人生と対比しながら観ていました。

主なる神は、わたしの出自を問われません。罪の奴隷であった者も、主イエス・キリストの十字架の「贖い」の御業のゆえに、神の子としてくださり、共同の相続人としてくださったのです。

冒頭の教会の新主任牧師は、その教会にとっては、言わば外から来られた方です。しかし神は、内とか外とかで人を見る方ではありません。わたしも牧会を離れ、お茶の水聖書学院（OBI）と太平洋放送協会（PBA）で奉仕させていただいていますが、この二つの団体にとっては、ある意味で、わたしも外から来た者です。でも神がそのような道に、わたしを招いてくださったのです。

あなたにも、神は使命と責任を用意しておられます。ほかの誰かにではない、あなたの働きの場であり、あなたのいるところを用意してくださっているのです。僕から共同相続人へと、わたしたちの身分を一方的に変えてくださった神の恵みを味わってください。招きに応じて立ち上がってください。